

We think overseas school excursion widens your point of view.

世界は近い！福岡空港発



海外教育旅行

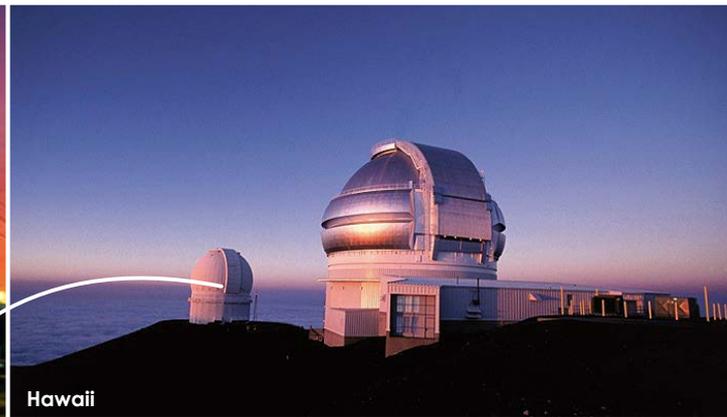
発展を遂げる世界を体験し
将来を考察する

異なる人種、言語、慣習を
学び理解する

若いころから国際感覚を身
につける



Taiwan



Hawaii



Thailand



Finland



Vietnam



Korea

はじめに

国際化が進展する現代において、海外への教育旅行は、外国の歴史や文化、慣習などを直接肌で感じることができる絶好の機会といえます。学友とともに現地で多彩な体験をすることは、学生たちにとってグローバルな視点を養う早期きっかけづくりとなるだけでなく、日本の伝統や文化を見つめ直す機会になるなど、大きな財産となります。

本冊子は、各国・都市政府観光局の協力のもと、海外教育旅行をテーマに、福岡空港を出発点とする、各国・都市の教育素材や魅力、モデルプラン、実際に海外教育旅行を実施している学校関係者の体験談等、様々な情報をご紹介します。

本冊子により、各国・都市の素晴らしさや海外教育旅行が持つ教育的価値を再認識していただき、今後の海外教育の実施促進や、検討材料の一助としていただければ幸いです。

福岡空港から広がる国際路線





シンガポール

マレーシア

シンガポール市内の見学や、マレーシアでのホームビジット体験、学校交流を通して生徒に国際的な視野を拓けさせることができました。シンガポールとマレーシアの歴史や文化の事前学習を行い、それらを直接見聞することによって、両国の文化や歴史への興味・関心をさらに深めさせ、国際的な視野に立ったものの見方を拓けさせる良い契機となりました。

海外教育旅行の必要性

国内修学旅行では体験できない異文化理解の態度を育成し、グローバル社会に貢献できる人材づくりを目指す一つの機会になると考えます。海外での経験は、生徒が自らの将来を考える上で、視野を拓けることにつながられます。

福岡県立八幡高等学校 学年主任 廣濱 一郎



オーストラリア

近畿大学附属福岡高等学校では、平成25年度からオーストラリア海外語学研修を実施しています。1・2年生希望者を対象に、参加者は、平成25年度23名、平成26年度26名、平成27年度36名、平成28年度55名と年々増加し、人気の学校行事となりました。1、2年次続けて参加するリピーターもいるほどです。

研修内容は、ホームステイと現地高校での授業や活動を中心とし、大学見学、小学生との交流、文化施設訪問、ケアセンター訪問、自然公園視察、植樹ボランティアなど様々です。現地での人・自然・文化・歴史・食など、触れ合いや体験を大切にしています。

オーストラリアでの研修のメリットは、多文化・他民族国家であること、自然豊かなこと、親日的で治安良好なことなどです。今後グローバル社会で活躍が期待される生徒にとって、本研修が刺激的な体験となっていることは間違いありません。

近畿大学附属福岡高等学校 教諭 石田 伸



グアム

2016年11月東海大附属福岡高校2学年のうちグアム希望者74名は4日間の修学旅行に参加しました。

主たる目的としては、「グローバルな視野の育成・異文化理解の態度の涵養」を設定しました。具体的には、現地高校との交流、マリナクティビティや現地マーケット散策・繁華街でのショッピング等を計画に入れ、安全に気を付けながらもグアムを十分に楽しんでもらうよう配慮しました。

プログラムの中で生徒の満足度が最も高かったのは、サザン高校での1日交流でした。満足度を高めた理由として、本校の生徒とサザン高校の生徒が1対1でボディを組んで授業体験をし、必死に英語でコミュニケーションを取る体験をしたことが挙げられます。

今後は、見て回るだけの観光“sight-seeing”から体験型の“sight-doing”に変えていく大切さを感じた修学旅行でした。

東海大学附属福岡高等学校 学年主任 早見 京子



韓国

福岡

仁川
釜山
大邱

■福岡からの所要時間
仁川 約1時間20分
釜山 約50分
大邱 約1時間
■時差 ±0時間

基本データ

- 人口 約5,170万人
- 面積 約10万km²
- 公用語 韓国語
- 通貨 ウォン(KRW)



日本のすぐ隣にある、いちばん近い外国、韓国

街並みは日本によく似ていますが、歴史に育まれた独特の文化がそこかしこに息づいています。

「外国なのに日本と文化や習慣が似ているようで、全然違う！」
そんな驚きの体験が待っています。

美味しい料理、豊かな自然、温かい人々……。

韓国での国際交流の経験が学生にとってきっと忘れられない思い出になることでしょう。

近くて安心！豊かな歴史と文化遺産、日本と深いつながりがある文化、トレンドリーな韓国を満喫してみましょう！

おすすめ教育素材

A 繁華街散策(自主行動)

韓国は治安が良く、日本語が通じる店や案内所が多いので、初めての海外自主行動にも最適です。



B 多彩な文化体験プログラム

言葉が理解できなくても楽しめるノンバーバル・パフォーマンスや伝統文化体験、テーマパークなど、学生が楽しめるプログラムが豊富です。



C ユネスコ世界遺産(歴史学習)

慶州の石窟庵・仏国寺、百済歴史遺跡地区など、韓国にはユネスコ指定の12の世界遺産が全国に点在しています。



D 板門店、統一展望台など平和学習

韓国は軍事境界線で北朝鮮と分断された国家です。ここでは国際関係の現実と平和の大切さを改めて実感できます。



教育旅行のメリット

① 日本と深いつながりがある文化

韓国と日本は古代から交流が盛んで、仏教も中国から百済を経て日本に伝播しました。仏教遺産は両国の文化的共通性を感じられ学べば学ぶほど両国のつながりの強さを感じることができます。

② 多彩な学習・体験プログラム

韓国でしか体験できない多彩な文化体験プログラムを実施しております。キムチ作りや伝統音楽・舞踊体験を通じて、現地の学生と交流を深めることができます。

③ 現地学生との国際交流

現地校との活発な交流は、韓国の教育旅行の最大の魅力ポイントです。最近では姉妹校訪問以外にホームステイを通じた交流も盛んに行われています。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	入国後、ソウルへ移動→景福宮、国立博物館見学 →伝統公演観覧
2日目	午前	自由行動→仁寺洞、明洞などソウルの街並み体験
	午後	学校交流会
3日目	午前	KTXで慶州へ移動
	午後	→大陵苑、石窟庵、仏国寺など世界文化遺産を見学
4日目	午前	釜山へ移動
	午後	→海雲台、UN記念公園、甘川文化村、南浦洞、国際市場見学
5日目	午前	出国

中華人民共和国

(青島)

福岡



青島

(青島流亭国際空港)

■福岡からの所要時間
約2時間20分

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 約13.82億人
- 面積 約960万km²
- 公用語 中国語
- 通貨 人民元



中国5000年の歴史を感じよう

日本の約25倍もの面積を持つ中国。そのため色々な文化が育まれています。青島は山東省の南端に位置し、三方を海に囲まれた美しい街です。中国屈指のリゾート地のため治安も良く、衛生面でも安心です。ドイツ租借の歴史や歴史の偉人達が青島に居住していたこともあり、歴史的魅力も多い青島。近年地下鉄も整備され、交通の便でも便利です。

おすすめ教育素材

A 「迎賓館」

1908年に完成したドイツ総督官邸。1922年より青島市長官邸及びゲストハウスとなり、1934年に「迎賓館」と名づけられた。当時の趣を残している貴重な建物。



B 「康有為故居」

1898年に約100日間続いた「戊戌の変法」を推進した康有為が晩年暮らしていた住居。元々はドイツ総督副官だったため、ドイツ式の建築である。現在は記念館として一般公開されている。当時の家具や改革の資料などが展示されている。



C 「嶗山風景区」

国家最高ランク5Aの観光地であり、「海上第一の名山」と呼ばれている。かつて秦の始皇帝と漢の武帝が仙人を訪ねたと言われている。



D 「周村古商城」

明清時代の重要商業地区、「天下一の村」と呼ばれる手工業商業村。主な街道である「大街」は明の永楽年間、西暦1410年頃に建てられた。重点保護単位、省級優秀歴史建築に指定され、「中国の生きた古商業建築博物館群」ともいわれている。



教育旅行のメリット

① 日本に近い国

飛行時間が短く、時差は1時間。コンパクトな街のため、滞在時間が短くても観光しやすい。

② 歴史に触れられる

歴史的な街で中国の近代化に触れることができる。

③ 自由行動しやすい

漢字圏のため自由行動がしやすい。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	迎賓館、康有為故居、小魚山見学
2日目	午前	学校交流
	午後	自由行動
3日目	午前	高鉄で淄博へ 「周村古商城」 「臨淄中国古車博物館」見学
	午後	
4日目	午前	自由行動
	午後	自由行動
5日目	午前	青島出発
	午後	福岡空港着



香港

福岡



香港

■福岡からの所要時間
約3時間30分

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 737万人 (2016年)
- 面積 約1,104万km²
- 公用語 広東語・英語
- 通貨 香港ドル
- 気候 亜熱帯気候



西洋と東洋の2つの文化を持った街

香港は、世界でも類を見ない1国2制度の下、治安も良く、西洋と東洋の文化の違いを見学出来ます。

「食の都」としても名高く、香港政府の徹底した管理で安心して食事をお召し上がりいただけます。

香港には260の島々があり、香港全土の40%はカントリーパークということはあまり知られていませんが、「香港ジオパーク」は世界ジオパークに認定されています。

おすすめ教育素材

A 香港歴史博物館

香港の歴史を時系列に追って展示。特に19世紀末から20世紀にかけて記録した貴重な写真のコレクションや歴史的な文献、絵画など展示。



B 香港大学

1877年に創設されたアジアの中でもトップクラスの大学。無料で見学できるアートギャラリーは香港最古の美術館と言われ、貴重な所蔵品が展示されている。



C 九龍塞城公園

1846年、道光帝の許可を得て正式に九龍塞城が建設され、航行の確認、香港島との連絡の拠点だった場所。現在は清時代初頭の江南様式庭園。



D ビクトリアピーク

香港の訪問先で必ずと言ってよいほど選ばれている。ビクトリアハーバーが一望できる山頂駅には、100年以上運行されているピークトラムである事が出来る。



教育旅行のメリット

① コンパクトで安全な都市

時差マイナス1時間なので、到着してから無駄なく行動可能。また、コンパクトな都市なので、ビジネス街から、郊外の移動も30~40分。この中に視察ポイントが凝縮されている。

② 調和がとれた新旧混在の街

犯罪率も低く安全に街歩き出来る香港では、班別行動が最適。公共交通機関を使えば、面的に視察先を見学出来る。公共交通機関には、ユニークな乗り物が多く、100年以上の歴史がある。(スターフェリー119年、2階建て路面電車「トラム」113年、香港鉄道107年*) *MTR(地下鉄)は38年。

③ 経済自由度が高いアジアの中心的存在

西洋と東洋の文化の融合や、「アジア経済の中心」は街を歩けばその活気等を肌で感じる事が出来る。日本から比較的近い英語圏で、経済自由度が高い。(香港ドル紙幣は3つの銀行がそれぞれのデザインで発行されている。)

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	香港国際空港着 夕食 ギネス登録の夜景「シンフォニー・オブ・ライツ」鑑賞
2日目	午前	香港島視察 昼食(飲茶)
	午後	九龍半島視察 夕食(広東料理)
3日目	終日	香港ディズニーランド内にてユース向けプログラム体験(または、香港文化体験)
4日目	終日	班別行動 (現地学生との交流、または香港ジオパーク視察)
5日目	午前	香港国際空港発

マカオ

中華人民共和國特別行政区

福岡



マカオ

■福岡からの所要時間
約3時間30分

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 643,800人
- 面積 30.5km²
- 公用語 広東語・ポルトガル語
- 通貨 マカオ・パタカ



世界遺産の歴史と近未来都市が共生する街

マカオは東洋と西洋の二つの文化が約450年間にわたって共存するユニークな歴史を集積してきた街です。1999年にポルトガルから中国に返還されました。15世紀の大航海時代から遡ると日本との密接な関係性が見えてきます。また「一国二制度」として独自の自治と暮らしが認められる中、ユネスコ世界文化遺産に登録された街並み・建造物、特有な文化、また世界の最先端を行くIR(統合型リゾート)による都市開発の様子など、対立軸が明確で学びのテーマが多彩な教育旅行先として注目されています。

おすすめ教育素材

A ユネスコ世界文化遺産

東西文化融合の軌跡・22の歴史的建造物と8つの広場を含むマカオ歴史市街地区は約2kmの道程に集中し徒歩観光がオススメ。スタンプラリーのように廻ることも可能です。歴史教育素材の宝庫。



B 統合型リゾート(IR)

日本でも注目されている統合型リゾート(IR)がマカオで相次ぎオープンする中、その進化するマカオ都市開発やエンターテインメントの見学が可能です。



C 文化体験プログラム

ポルトガル伝来のタイル・アズレージョの絵付け体験やポルトガルやマカオのお菓子作り。F1の登竜門・マカオ・グランプリ博物館見学。IRで行われる壮大なショー鑑賞など多彩な選択肢があります。



D 学校訪問と学生交流

大学生と英語で交流しながら街を訪問するビッグブラザーズ&シスターズ・プログラム(BBSP)をはじめ、マカオならではの交流コンテンツが整備されています。



教育旅行のメリット

① 多様なアクセス

マカオ航空の直行便に加え、乗り継ぎ・チャーター便などアクセスも多様。今後開通が予定されている『港珠澳大橋』により香港空港からマカオのアクセスがより便利になります。(この大橋も教育素材として注目)

② 対立軸が明確な観光地で学びのテーマが多彩

- 中世:現代 ●ヨーロッパ:東洋 ●ポルトガル:中国
- 世界歴史遺産:IR(統合型リゾート)

③ 極めて低い犯罪率・安心・安全な旅行地

観光地・中心街には観光警察が巡回。IRの娯楽施設は入場が完全管理。安全・安心な旅が可能。

④ 多様なホテルと多彩な食文化

IRの相次ぐ開業で大型ホテルやコンベンション施設もますます充実。大型グループ旅行の対応にも習熟。マカオの三大料理「マカオ料理」をはじめ「ポルトガル料理」「中国料理」が楽しめ、食品衛生管理も厳格な基準で安心です。

スケジュール例

1日目	福岡空港発 *直行便又は香港経由フェリーにてマカオ到着後、ホテルへ 夕食:中国料理
2日目	午前:BBSPプログラム マカオの大学生と世界遺産巡り 昼食:学生とランチ 午後:現地学校との交流 夕刻:タイパ地区の見学 夕食:マカオ料理
3日目	各種体験コースを選択 ●コタイ地区・統合型リゾート(IR)見学 ●タイパ・コロアン地区巡り ●アズレージョの絵付け体験 ●マカオグランプリ博物館 夕食:火鍋料理
4日目	*3日目同様、体験プログラムに加え下記も選択可 マカオ周辺都市へ足を伸ばして一国二制度を実体験。(国境・通貨・異なる街並み) ●香港日帰り観光コース ●香港ディズニーランドコース ●中国「開平」・世界文化遺産コース 夜:ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター鑑賞 夕食:ポルトガル料理
5日目	マカオ空港から福岡空港へ

*マカオ・グランプリ博物館は2017年中は改装のため閉館

台湾

福岡

台北
高雄

- 福岡からの所要時間
台北 約2時間20分
高雄 約2時間50分
- 時差 -1時間

基本データ

- 人口 約2,300万人
 - 面積 約3万6,200km²
 - 公用語 中国語
 - 通貨 台湾元
- ※ニュー台湾ドル(NT\$)、元、圓と表記されることもある



福岡からわずか約2時間15分のフライト

九州とほぼ同じ面積の台湾には西側に台湾新幹線が通り、豊富な体験プログラムや教育スポット、日本と関り深い歴史背景など、教育旅行に適した魅力が溢れ、国境を越えた真の国際交流ができる第一歩です。

おすすめ教育素材

A 台北101ビル(台北)

高さ509.2mの台湾一超高層ビル。89階の展望台からは台北市内を一望できます。台湾と日本の高い技術を駆使したエレベーターも必見。



B 龍山寺(台北)

1738年創建、台北最古の歴史を誇る寺廟。仏教・道教の神々なども祀られ台北の人々の篤い信仰を集めています。



C 九份(新北市)

かつて金鉱の街として栄え、当時の面影を残すレトロな街並が広がります。茶芸館やカフェ、ショップ巡りなど散策にぴったりです。



D 烏山頭水庫(台南)

台湾で農業水利事業において多大な功績を残した金沢出身の技師、八田與一が建設指揮した台湾最大のダム。



教育旅行のメリット

① 日本と同じ漢字圏

駅名や標識の表記など、見て分かりやすいので、初めての海外旅行に適しています。

② 日本との深い関わり

歴史的に日本との深い関わりを発見、体感できます。

③ 豊かな食文化

温暖な気候で収穫された食材を使った台湾料理は、醤油ベースの味付けで日本人の口にも合い、年中豊富なフルーツが楽しめます。

④ グローバル視点の育成

英語教育によるグローバル育成に力を入れており、将来、国際社会に役立つ、よい経験ができます。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	淡水紅毛城、淡水老街、士林夜市見学
2日目	午前	学校交流
	午後	龍山寺、九份
3日目	午前	選択体験コース ●小籠包作り体験 ●本場台湾茶道体験 ●太極拳体験 ●足つぼマッサージ体験 30分+健康講座 ●パイナップルケーキ作り体験など
	午後	B&Sプログラム
4日目	午前	台北101ビル
	午後	福岡空港着

フィリピン

福岡



マニラ

■福岡からの所要時間
マニラ 約4時間

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 約1億98万人
(2015年度)
- 面積 29万9,404万km²
- 公用語 フィリピーノ語・英語
- 通貨 フィリピン ペソ



教育旅行のメリット

① 時差ボケなしでアクティブに活動！

福岡空港からマニラまでは、4時間弱。マニラからセブ島も国内線で1時間とアジアの中でアクセスが良い。時差も1時間なので帰国後も体の負担が少ない。

② フィリピンだからできる経験

環境保護の観点からもマングローブの植林やマリンサンクチュアリーなどで、様々な体験が出来る。アジアで1番のキリスト教大国で文化や歴史の違いを体感する事が出来る。

③ 人口の93.5%が英語を話す

英語が公用語なので、現地人とのコミュニケーションも取りやすい。近年語学留学先としての認知が高まってきており、フィリピンで基礎英語を学んで、将来に生かそうという人が増えている。

最近語学留学先としても認知度が高いフィリピン！
英語を学び、環境問題を考え、ボランティアを体験する。
グローバル人材育成のスタートをフィリピンから！

フィリピンはアセアン諸国で最もGDPの伸びが期待されている高度成長国でありながら、豊かな自然に恵まれた観光立国です。スペイン統治時代の面影を残す教会群やサンゴ礁が豊かな海等、世界遺産も多く登録がされています。そして、何よりも家族の絆の強いフィリピーノ・ホスピタリティを体験することは、皆さんのライフテーマの探求に大きなヒントになる事でしょう。

おすすめ教育素材

A マゼラン・クロス、教会、要塞跡

世界1周の旅をしたポルトガルのマゼランが最後に上陸したセブ島で、国内で初めて洗礼式をした際に建てられた十字架。近くにはキリストの幼少の頃の像を祭ったサントニーニョ教会やサンペドロ要塞なども見学出来る。



B バード・サンクチュアリー

湿地や水鳥を保護する国際条約のラムサール条約に指定されている干潟があり、渡り鳥の休養地として冬になると中国や日本、シベリアなどから、寒さを逃れるためにこの島へやってくる。



C マリン・サンクチュアリー

地元の大学などの協力で海洋保護地区として長年管理されており、ソフトコーラルに多くの海洋生物が生息している。NGOなどがマングローブの植林なども行っている。



D 語学学校体験授業

ESL 英語留学で最近メディアにも取り上げられるフィリピン英語留学の語学学校のマンツーマン授業などを体験。教師の質の高さやカリキュラムを確認できる。



スケジュール例

1日目	午後	福岡空港発 マニラ空港にて国内線乗り換え
	夕方	セブ空港着
	夜	ホテル泊
2日目	終日	【現地学校と交流イベント】 現地の学校を表敬訪問 現地の学生との交流
3日目	終日	【各体験プログラム】 サンクチュアリー見学 語学学校訪問 日系企業、企業訪問 など
4日目	終日	マクタン島にてマリンアクティビティ 市内観光後ショッピングなど市内散策
5日目	早朝	チェックアウト
	午前 午後	マニラ空港へ 国際線乗り換え→福岡空港着

タイ

福岡



バンコク

■福岡からの所要時間
約5時間20分

■時差 -2時間

基本データ

- 人口 約6,000万人
- 面積 約51万4,000㎡
(日本の約1.4倍)
- 公用語 タイ語
- 通貨 バーツ



共通性・相違性を考えるきっかけの場

東南アジアに位置し、アセアンでも中心的存在のタイ王国は、歴史的背景を通じても日本と親密な交流関係にあります。首都バンコクをはじめ世界遺産の街など歴史文化を体感できる場所が多数あり、積極的に学校交流を行うなど、グローバル教育を目的とした海外教育旅行先としては最適の場所です。

おすすめ教育素材

A 現地校での学校交流

同世代との交流により、共通性や相違性に基づくグローバルを体感



B 国際機関や日系企業訪問

生徒自身が将来に向けたグローバルな視野・思考の気づき



C 史跡名所での異文化体験

史跡名所を巡ることで、歴史背景による自国文化との、共通性などを学ぶ



D 体験などの異文化体験

異文化体感を通じて自国文化を比較し、その魅力を再発見



教育旅行のメリット

① 帰国後の学習効果の向上

学校交流を通じての同世代交流を行うことで言語の重要性とグローバルでの競争意識の刺激を受け、帰国後の学習効果を高めることができます。

② グローバル思考の必要性を学習

日系企業や国際政府機関などを訪問することにより、現状説明を受けることで、将来に向けたグローバル思考の必要性を学ぶことができます。

③ 親日国ならではの異文化体験

修好130周年を迎えた親日国で、歴史文化等を通じて異文化体験ができます。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	バンコク空港着 現地情報レクチャー
2日目	終日	現地校との学校交流
3日目	終日	国際機関訪問 日系企業訪問
4日目	終日	王宮・寺院見学 商業施設見学
	深夜	バンコク空港発
5日目	早朝	福岡空港着



ベトナム

福岡

ホーチミン
ハノイ

■福岡からの所要時間
ホーチミン 約5時間
ハノイ 約4時間

■時差 -2時間

基本データ

- 人口 約9,270万人
(2016年時点)
- 面積 32万9,241㎦
- 公用語 ベトナム語
- 通貨 ドン(Dong)
1ドル=22,162ドン
(2017年1月時点)
- 首都 ハノイ



教育旅行のメリット

ベトナム修学旅行を通して3つの点で子供たちの成長が！

世界屈指の親日国家、ベトナム

今春、天皇・皇后両陛下が御訪問されたことでも話題に。数千年以上の歴史を有するベトナムは、古来より中国・フランス・アメリカ等の影響を受け、独自の文化を形成しています。今年、ベトナム第3の都市・中部のダナンで、APEC首脳会議が開催される等、現在は新興国として世界の注目を浴びています。



感じる



考える



感謝する

おすすめ教育素材

A 学校訪問・交流会

現地の高校を訪れ、相互に出し物をしたり、文化・スポーツ交流を英語で実施します。生徒に人気No1のプログラム！



B 現地企業視察

現地に進出している日系企業を訪問し、海外で働く意義を施設見学や現地社員との質疑応答を通して学びます。



C 平和教育

世界のピューリッツァー賞を受賞した日本人・沢田氏による戦争写真を交えながら、戦争の悲惨さ、そして平和の重要性を学ぶ事が出来ます。近年発生している、日本に関わる国際問題等を、外国の歴史を通して生徒達が見つめ直す機会に。



スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発 直行便でベトナムへ
	午後	市内のレストランにて夕食 ホテル泊
2日目	午前	学校訪問・交流会
	午後	昼食、現地企業視察 夕食、ホテル泊
3日目	午前	クチトンネル見学 昼食
	午後	戦争証跡博物館見学 市内観光(ベントイン市場、郵便局、大聖堂、商業施設) 夕食後、ホテル泊
4日目	午前	メコン川クルーズ(世界の一級河川) 昼食
	午後	市内観光(旧大統領官邸、ピテクスコフィナンシャルタワー) サイゴン川ディナークルーズ 食後、空港へ
5日目	深夜	ベトナム発
	午前	福岡空港着

シンガポール

福岡



シンガポール

■福岡からの所要時間
約6時間30分

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 553万人
- 面積 710km²
(中国系:74%、マレー系13%、インド系9%)⇒多民族国家
- 国語 マレー語
- 共用語 英語・中国語・マレー語・タミル語



マレー半島の最南端に位置する多民族の都市国家

政治的にも経済的にも安定したシンガポールは治安も良く、安心して班別行動をご実施いただけます。また、都市問題のユニークな解決策、多民族共生、平和学習などの豊富な学習素材に加え、また教育に国家予算の20%をあてるシンガポールならではの質の高い教育コンテンツが豊富であり、修学旅行にご活用いただけます。

おすすめ教育素材

A 多民族・多文化が実感できる街

- チャイナタウン
- リトルインディア
- アラブストリート
- カトン 等



B シンガポールの水資源問題と解決策について学ぶ

国土が小さく、自然の水の確保に非常に苦勞。その解決策(隣国からの購入、貯水池、再生水)を学ぶ

マリーナバラージ

海との水の行き来を制御し、貯水池の役割と水量の調節をして洪水を防ぐ役割を持つ施設



D 博物館・観光地等でも質の高い教育プログラムを提供

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ環境への負荷を軽減するための様々な取組・エコや植物をテーマに独自の教育プログラム、英語にある程度自信があれば模擬国連なども。



教育旅行のメリット

① 安全性

政治、経済も安定し治安も良好。学生の皆さんが班別行動等を通してご自身で英語を使い街を探索していただくことが可能。

② 英語を使って学ぶ質の高い学習素材

歴史、平和学習、環境、都市開発、科学などの幅広い学習素材。語学学習はもちろんのこと、英語を使って学ぶ機会も豊富。博物館、観光地等でも質の高い教育プログラムを提供。

③ 異文化交流

異文化を五感で体感し日本との違いを認識

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	夕方	シンガポール着
2日目	午前	テーマに沿った市内観光 ●多文化共生 ●歴史 ●環境
	夜	ナイトサファリ
3日目	終日	教育プログラム (語学研修または、英語を使って学ぶプログラム)
4日目	終日	ブラザー&シスタープログラムで英語を使って班別行動 (現地大学生がガイド役となり町に出て、班別行動をする)
5日目	午前	世界文化遺産のシンガポール植物園を見学 (歴史の学習)
	午後	セントーサ島(ユニバーサルスタジオ等)
	深夜	福岡へ

グアム

福岡



グアム

■福岡からの所要時間
約4時間

■時差 +2時間

基本データ

- 人口 17万人
- 面積 549km²
(日本の淡路島とほぼ同じ)
- 公用語 英語・チャモロ語
- 通貨 アメリカドル



たったの3時間半で行ける日本から一番近いアメリカ

グアムへは福岡空港から毎日直行便が運航。近くて安全で、あらゆる世代の方々に最も人気のあるリゾートデスティネーションの一つですが、近年は英語教育への関心の高まりを受け、一番身近にアメリカ英語学習ができるグアムは2014年に149校、2015年に157校、2016年には181校の学校に選ばれており、年々日本からグアム教育旅行の需要が高まっています。

おすすめ教育素材

A 英語の実地訓練

グアム大学で現地学生によるキャンパスツアーや授業の聴講



B 平和学習

- 平和慰霊記念公園
- 太平洋戦争国立歴史公園
- ニューマンビジターセンター



C 異文化体験

- グアム博物館
- ゲフパゴチャモロ文化村
- チャモロ料理体験

など



D 環境保護学習

絶滅の危機に瀕する鳥の保護センターやマリンラボ。
ビーチクリーニング体験

など



教育旅行のメリット

① 日本から一番近い米国グアムで、アメリカを学ぶ
日本から一番近いアメリカ。聞き取りやすいアメリカ英語は、生徒の英語学習・実地体験に最適。

② 高い安全性で安心

治安が良く、政治情勢も安定しており、安全面での不安がない。ビジターセーフティオフィサーが毎日パトロールし、観光客の安全を守っている。もしもの時はMAIやグアム旅行者クリニック等日本語の対応も万全。

③ 高いコストパフォーマンス

国内の研修旅行とほぼ同等の料金で、海外研修旅行の実施が可能。近い分航空運賃が抑えられ、保護者の負担を軽くすることが出来る。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	グアム国際空港着 ホテルで夕食
2日目	午前	島内観光
	午後	グアム大学キャンパスツアー&ランチ / Kマート、 マイクロネシアモールにて自由散策
3日目	午前	平和学習
	午後	グアム博物館
	夜	チャモロビレッジナイトマーケット(水曜日のみ)
4日目	終日	マリンアクティビティ
5日目	早朝	グアム国際空港→福岡空港

ハワイ

福岡



ハワイ

■福岡からの所要時間
ホノルル 約8時間

■時差 -19時間

基本データ

- 人口 1,431,603人
- 面積 16,634km²
- 公用語 英語・ハワイ語
- 通貨 アメリカドル



写真提供：ハワイ州観光局

本当のハワイを体験した事がありますか？

ハワイは単なる観光リゾートではありません。教育旅行に最適な環境が揃っているのです。独自の文化と歴史、英語学習を始めとするグローバル人材育成、多様な気候や固有の動植物と大自然、そして日本との深い関わりにより身をもって体験する事の出来る平和学習など、多彩な「学び」の素材が揃う学びの宝庫、ハワイを皆様にご紹介させていただきます。

おすすめ教育素材

A イオラニ宮殿

1882年にカラカウア王によって建てられ、その後王位を継承した、リリウオカラニ女王が1893年に即位するまで暮らした公邸。歴代の王族が使用した品々や貴重な品々は往時の生活の様子が伺えます。



B ビショップミュージアム

ハワイの歴史と文化を体系的に学べるミュージアム。かつての王国時代に実際に使用されていた品々は、生きた歴史を今に継承し続けています。ウクレレ、フラ、ハワイアンクラフトなど、カルチャープログラムも充実しています。



C パールハーバーでの平和学習

戦艦ミズーリ記念館・USSアリゾナ記念館・太平洋航空博物館・日本文化センターでは、戦争の記憶から平和を考える、ハワイ日系人が歩んだ苦難の歴史を学び、ハワイ滞在を通して自分の知らなかった日本を知ることができます。



教育旅行のメリット

① グローバリズム教育プログラム

グローバル時代において英語の重要性が今まで以上に叫ばれている中、本場の英語に触れてスキルアップ、ハワイで生きた英語に触れる事は、学生にとって貴重な経験となります。

② 過去を学び、現在を知り、未来を考える

かつてのハワイ王国の史跡、日系移民との深いつながり、そして戦争の遺産が数多く残るハワイ。ハワイの歴史から見えてくる知られざる日本がここにはあります。

③ ハワイ＝生きる実験室

古代ハワイから受け継ぎ、今では世界最高レベルである学習素材。天文学、海洋学、自然エネルギー、地質学、これらの施設はSSHの派遣先としても注目されています。ハワイの大自然に刺激される学習意欲を、学生の皆様に。

スケジュール例

1日目	夜	福岡空港発
	午前	ホノルル空港着 イオラニ宮殿 ヌアヌ・パリ 夕食後ホテルにてブリーフィング
2日目	午前	ハワイ日本文化センターにて日系移民について学ぶ
	午後	ビショップミュージアムにてハワイの歴史と文化を学ぶ
3日目	午前	地元高校を訪問、生徒との交流を通じて本場の英語を学習
	午後	ポリネシアンカルチャーセンター見学
4日目	午前	USSアリゾナ記念館
	午後	戦艦ミズーリ記念館 太平洋航空博物館
5日目	午前	ホノルル発

フィンランド

(オウル市)

福岡



ヘルシンキ

■福岡からの所要時間
ヘルシンキ 約10時間30分

■時差 -6時間

基本データ

- 人口 198,525人
- 面積 3,880km²
- 公用語 フィンランド語・スウェーデン語
- 通貨 ユーロ



オウル市と周辺地域は、「北欧のシリコンバレー」と呼ばれるフィンランドの教育・産業都市です。

フィンランド国内で5番目に大きく、国内線フライトにおいては、ヘルシンキに次いで第2位の発着数の多さを誇るオウルは、フィンランドのビジネスと教育の中心地です。

フィンランド北部の中心都市オウル市とシュオテ、ブダスヤルヴィ、ロクア、カラヨキの周辺地域は、地域を挙げて日本からの教育旅行・企業視察の受け入れを積極的に行っています。ジオパークのユニークな自然に囲まれたロクアへは1時間、サンタクローズ村のあるロヴァニエミへも2時間半で行くことが可能です。

おすすめ教育素材

A 学校訪問・教育視察

小中高校及び大学におけるの学校訪問・交流や、世界最大級のログ建築の学校、幼児教育施設など教育現場の視察も高レベルで充実したプログラムが満載。



B ロクア・ジオパーク

UNESCOからジオパークに指定されるロクアは氷河期の影響を受けたユニークな地域。専門ガイドのツアーで自然学習にぴったり。



C 企業視察

次世代通信技術5GをはじめとしたICT技術、フィンランドデザイン企業・工房、医療サービスなどの幅広い分野の最先端ノウハウを持つ企業の視察が可能です。



D シュオテ

シュオテは、オウルから車で約2時間。充実したスキースクールや犬ぞりなど、夜にはオーロラ鑑賞が楽しめるフィンランド屈指のスノーリゾートです。



オウル市のシンボリック的存在ボリスマン像には、いつも多くの人が集まります

教育旅行のメリット

① 治安が良く安全で安心した国情と、豊かな自然

ヨーロッパ内でも非常に安全で、安定した政情を誇ります。自然災害も少なく教育旅行のデスティネーションとしては最適です。秋からはオーロラも見られる豊かな自然も魅力です。

② OECDピサ到達度テスト等でよく知られる教育先進国

フィンランドはOECDによる教育到達度テスト(PISA)で常にトップクラスの成績をおさめる教育大国で、レベルに合わせて貴重な交流体験をすることが可能です。

③ 日本の4拠点から週35便の直行便で、日本から一番近いヨーロッパ・フィンランドへ

日本から福岡を含む4空港から(夏スケジュール)週35便が就航しており、特にヨーロッパに最速で到着するフィンエアーが広くアジアに毎日就航のネットワークを持つため、万が一の事態が起きても短時間で全員帰国できる体制。

スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発 日本から一路フィンランドへ
	午後	ヘルシンキ(ヴァンター空港)で乗り継ぎ オウル到着
2日目	終日	オウル市内の産業見学とロクア・ジオパークで自然学習
3日目	午前	オウル地域の学校と交流とフィンランドの教育体験
	夕刻	ヘルシンキへ移動
4日目	午前	ヘルシンキ市内観光
	午後	帰国の途へ
5日目	午前	福岡空港到着

オーストラリア

(クイーンズランド州)

福岡

ケアンズ
ゴールドコースト

■福岡からの所要時間

(一例)シンガポール経由 約13時間 (乗継ぎ時間除く)

※直行便がなく、経由便または、チャーター便のみ。

■時差 +1時間

基本データ

- 人口 470万人
- 面積 170万km²
- 公用語 英語
- 通貨 豪ドル

※QLD州(右上のブルー部分)



言葉の壁を超えたコミュニケーションを体験

異文化理解の先進国オーストラリア・クイーンズランド州で言葉の壁を超えたコミュニケーションを体験できます。ケアンズを拠点に体験できる世界遺産グレートバリアリーフと熱帯雨林、語学研修先として最も人気のあるブリスベン、美しいビーチ、世界遺産の山にも恵まれたゴールドコースト。更に先住民アボリジニの歴史と文化に触れることのできるクイーンズランド州で生徒さん達をお待ちしています。

おすすめ教育素材

A ケアンズ グリーン島

世界自然遺産グレートバリアリーフでサンゴや魚類の生態を学習。



B ケアンズ 湿潤熱帯地域

世界自然遺産熱帯雨林は世界最古であり、この森の環境保全学習ができる。



C ゴールドコースト ゴンドワナ多雨林

世界自然遺産スプリングブルック国立公園では4つの気候帯の植物が生息している。



D ブリスベンモートン島

海洋生物の研究所があり、環境保全の学習をしたり、野生のイルカに餌つけができる。



教育旅行のメリット

① 親日的で安心、安全

治安良好で安心、安全、時差も通年1時間でネイティブの英語圏。クイーンズランド州にとって日本は最大の貿易相手国でもあり、互いに尊重し合う関係は極めて親日的な土地柄につながっている。

② 世界自然遺産を体験

世界自然遺産の中での体験学習ができ、環境保護の先進地域でもありさまざまなエコプログラムを体験可能。

③ 異文化理解の先進国

世界各国からの移民が多く多民族、多文化社会の在り方を体験できる。

スケジュール例

1日目	福岡空港発 (移動日)
2日目	ケアンズ空港着 スカイレールにて世界自然遺産の熱帯雨林へ コアラ抱っこ、カンガルー餌付け、先住民アボリジニ文化体験
3日目	世界自然遺産グレートバリアリーフの島グリーン島へ
4日目	学校訪問、文化交流会、スポーツ交流会 班ごとに市内散策 活動報告会
5日目	ケアンズ空港→福岡空港 (移動日)



マレーシア



福岡



クアラルンプール

■福岡からの所要時間

(一例)香港経由 約7時間20分 (乗継ぎ時間除く)

※直行便がなく、経由便または、チャーター便のみ。

■時差 -1時間

基本データ

- 人口 約3,000万人の多民族からなる国民
マレー系(67%)、中国系(25%)、インド系(7%)、
その他の民族(1%)
- 首都 クアラルンプール(KL) 人口約180万人
- 通貨 リンギット(RM) RM 1 : 約¥25~27



- 気候 熱帯気候(常夏) 典型的な熱帯性気候年間を通して
温暖・多湿 平均気温は21~32度
- 言語 マレー語・英語が広く使われている
- 電圧 220V 50Hz B、BF、Cタイプ

教育旅行のメリット

① 1 Malaysia

マレーシアは1つの国でアジアを象徴・本当のアジア、マレーシアトゥルーリーアジアと呼びます。ひとつの国でマレー、中国、インドやその他の民族の様々な文化を体験できるということです。そして、多民族国家ならではのいろいろな種類の料理を味わうことができます。

② 日本との絆を大切にしている親日国

親日的でフレンドリーな国民性そして整ったインフラ。マハティール元首相が30年以上前に提唱したLook East政策の影響を受け、日本が大好きな方が非常に多いです。

③ 刺激に満ちた学習環境

市内観光で歴史的建造物をみたり、体験型学習としては、多彩なアクティビティがあります。なかでもホームビジットやホームステイは特徴的です。マレーシアでは村や田舎をカンボンと呼び、カンボンビジット・カンボンステイと呼んでいます。

おすすめ教育素材

A モスク

独特な星型のドームと天にのびる光塔が印象的な現代イスラム建築です。伝統的なイスラム芸術・飾り文字・装飾を現代的にアレンジした建物は見ごたえがあります。



B プトラジャヤ

KL市内から車で約30分の場所に位置する新行政都市です。2010年に全ての行政機関がプトラジャヤへ移転しました。プトラジャヤはインテリジェント・ガーデンシティと呼ばれ、自然と開発が見事に調和した美しい都市です。大きな湖にかかる橋はそれぞれ独特なデザインを持っているのも特徴です。

C 学校交流

現地の学校を訪問しての異文化交流です。同世代の生徒同士が身振り手振りを交えながら、お互いの文化を紹介し、コミュニケーションを取る事で様々は事を自分の力で学んでいきます。マレーシア教育省も積極的に受け入れを推進しています。
※注意:公立・私立共に10月~11月は試験期間、試験後~12月いっぱいには休暇となり、この期間の学校訪問は原則出来ません。

D ホームビジット・ホームステイ (カンボンビジット・カンボンステイ)

マレー語で「カンボン」は「田舎」の意味です。マレーシアのカンボンには、核家族化する以前の日本のような大家族が残されており、大家族や近所同士の交流など心温まる村の生活を体験できます。宿泊する場合は1家族に対し2~3名ずつ滞在します。村によって異なりますが、数百人まで受け入れ可能です。



スケジュール例

1日目	午前	福岡空港発
	午後	乗り継ぎ→クアラルンプール着 着後ホテルへ
2日目	午前	クアラルンプール 市内観光
	午後	学校交流
3日目	午前	日系/マレーシア企業訪問
	午後	自然探検 ホームビジット
4日目	午前	スズ工場見学・パティック体験等、プトラジャヤ or マラッカ観光
	午後	クアラルンプール発 乗り継ぎ
5日目	午前	福岡空港着

インドネシア

(バリ島)

福岡



デンパサール

福岡からの所要時間

(一例)シンガポール経由 約9時間 (乗継ぎ時間除く)

※直行便がなく、経由便または、チャーター便のみ。

時差 -1時間

基本データ

- 人口 422万人(2015年)
- 面積 5,632km²
- 公用語 インドネシア語
- 通貨 インドネシアルピア



“神々の棲む島”で学ぶ伝統とモダンの調和と多様性

バリと日本の時差は1時間で体力的負担が少なく、また米を主食とする食文化は日本と通じるところもあり、バリ料理は日本人にも人気です。

イスラム教徒が大多数のインドネシアの中において、バリは住民の90%以上がバリ・ヒンドゥー教徒であり、今なおその信仰と伝統文化を継承し続けています。

現代のグローバル世界において、多民族国家インドネシアで、宗教を生活のベースに伝統を継承する人々の日常を体験・学ぶ最適なデスティネーションです。

おすすめ教育素材

A ティルタ・ウンブル寺院

世界文化遺産に登録された地域の一部。聖なる泉の寺院としてバリ・ヒンドゥー教徒らが祈り、沐浴する姿に触れる事ができる。希望者は体験も可能。また、周辺に点在するグヌン・カウィなど王朝時代の遺跡も訪れたい。



B バリ舞踊鑑賞

世界無形文化遺産にも登録されているバリ舞踊は神への供物として継承されてきた。特にウブド王宮や近郊の劇場で上演されているレベルの高い舞踊団の公演には、同世代のダンサーも多く出演しており、必見。



C エコ・アドベンチャー体験

大自然の中で急流を下るラフティング、マウンテン・サイクリングやトレッキングで田園風景の中を散策し、素朴な村人の生活を垣間見る体験は興味深い経験となるでしょう。



D 平和学習

バリの人々から「バリの父」と慕われ、今もデンパサール市の墓地に眠る三浦襄翁は、戦前からバリに住み、バリとバリ人を愛した日本人。この三浦翁の墓地参拝を通して、あまり知られていないバリの戦禍の人々の苦難と日本人の関わり、そして現在の平和の成り立ちが見えてきます。

教育旅行のメリット

① バリ・ヒンドゥー教徒の日常を体験

バリの人々は、独特のバリ・ヒンドゥー教を生活のベースにしており、実際の儀式、祭り、神に捧げる舞踊や芸術に日常的に触れ、体験する事が出来ます。

② 豊かな自然

バリは豊かな自然に恵まれており、山・海それぞれの自然環境を生かした体験型アクティビティが豊富。絶滅が危惧されるスマトラゾウやバリ固有種の鳥ジャラップティなど、様々な動物や鳥類と触れ合い観察できる施設も充実しています。

③ バリの伝統文化を学べる世界遺産

◆バリ・ヒンドゥー教の哲学を表現する水利システム“スバック”による5つの地域(文化遺産)/①バトゥール湖 ②ウルン・ダヌ・バトゥール寺院 ③ペクリサン川流域の棚田の景観 ④ジャティレイ ⑤タマン・アユン寺院

◆9つのバリ舞踊(無形文化遺産)

スケジュール例

1日目	午前 午後	福岡空港発 シンガポール経由 デンパサール着 着後ホテルへ
2日目	終日	デンパサール市内観光、ティルタ・ウンブル寺院と周辺遺跡観光。 夕刻、ウブド内劇場でバリ舞踊公演鑑賞。
3日目	午前 午後	エコ・アドベンチャー体験やマリナクティビティなど。 ●学校・芸術学校など学生交流 ●平和学習など
4日目	終日 夕刻	出発まで選択体験(バリ舞踊体験、パティック体験、バリ郷土料理教室、ヨガ教室、他) 空路シンガポール経由帰国の途へ
5日目	午前	福岡空港到着



海外修学旅行にかかる費用（平成27年度）

（1）公立高等学校

訪問国別 費用・平均日数（全国平均）

（円、日）

	韓国	中国	台湾	ベトナム	シンガポール	グアム	ハワイ	オーストラリア	マレーシア
最高額	222,930	146,000	155,794	169,216	222,930	225,880	270,000	358,000	200,000
最低額	41,500	59,000	69,500	96,000	94,961	95,000	142,300	125,000	94,900
平均額	99,693	119,126	105,652	137,139	151,508	127,790	209,840	210,987	143,331
平均日数	4.2	4.8	4.1	5.2	5.0	4.4	5.5	6.3	5.1

（2）私立高等学校

訪問国別 費用・平均日数（全国平均）

（円、日）

	韓国	中国	台湾	ベトナム	シンガポール	グアム	ハワイ	オーストラリア	マレーシア
最高額	420,265	320,000	240,000	287,000	303,000	226,000	483,000	765,150	333,600
最低額	100,000	130,000	91,400	140,000	116,800	113,953	162,000	180,000	119,000
平均額	147,140	173,473	137,493	179,514	177,952	154,617	271,267	292,199	181,645
平均日数	6.0	5.2	4.8	6.0	5.1	4.8	7.6	7.9	5.4

出典：『全国公私立高等学校 海外修学旅行・海外研修（修学旅行外）実施状況調査報告：（公財）全国修学旅行研究協会』



各国・地域海外教育旅行に関するお問い合わせ先

国名	機関名	電話番号
韓国	韓国観光公社（福岡支社）	092-471-7174
中国	中国国家観光局（駐大阪代表処）	06-6635-3280
香港	香港政府観光局	03-5219-8288
マカオ	マカオ特別行政区政府観光局（日本事務所）	03-5275-2537
台湾	台湾観光協会（大阪事務所）	06-6316-7491
フィリピン	フィリピン共和国政府観光省（大阪事務所）	06-6251-2400
タイ	タイ国政府観光庁（大阪事務所）	06-6543-6654
ベトナム	ベトナム航空（福岡支店）	092-473-0500
シンガポール	シンガポール政府観光局	03-6269-9900
グアム	グアム政府観光局（大阪オフィス）	06-7653-5752
ハワイ	ハワイ州観光局	03-5213-4643
フィンランド	フィンランド政府観光局（Visit Oulu日本窓口）	03-6661-2045
オーストラリア （クイーンズランド州）	クイーンズランド州政府観光局	03-5404-7162
マレーシア	マレーシア政府観光局（大阪支局）	06-6444-1220
インドネシア	インドネシア共和国観光省（日本地区事務所）	03-5363-0158

福岡空港利活用推進協議会
(福岡市港湾空港局空港対策課)

福岡市中央区天神1丁目10-1

電話番号 092-711-4832 FAX 番号 092-733-5558